

ウチで一緒に走りませんか?  
ガレージ情報掲示板



**NAVY AUTO**  
代表者名: 今瀬昭彦  
岐阜県美濃加茂市蜂屋町下蜂屋2047-3  
0574-28-6445

レンタル 可 / 販売 可  
マシン: JAF F4、スーパーFJ  
主なドライバー: 元嶋成弥、山内飛術、太田達也、岡本大地

VOICE 赤ワインが大好きなチームです。

※掲載希望ガレージはF4協会まで



M.Ogushi  
今年の富士24時間レースと併催されたJAF F4の第4戦富士ラウンド。徳升（写真右）の応援に教え子たちがやってきた。オーナーの入江さんもちろんだが、こういった応援もまた彼の力になるのだろう。

# 二人三脚の実り オーナーと若手ドライバーが ともに戦う意味

## 若手のサポートをしてレース界に恩返しを



F4東西シリーズはダンロップタイヤのワンメイクレースです



F4協会HP  
www.f4k.co.jp

交換をしたんです。そうしたら1週間後くらいに電話が来て「オマエ、本気でやるか」と言われ、クルマを貸してもらったことが決まりました」

この話が転がり込んでこなければ、今年はレースをやめ、これまでのレース活動で作った借金を返すために働くことに専念していたはずと語る徳升は、スーパー耐久、そしてスーパーGTへのステップアップを目指す一方、子供向けのカートスクールを運営してコーチを務め、「お手本」になろうとしている。今回の週末も、教え子たちが手作りの横断幕を作って応援に来ていた。「ぼくはとくに裕福でもない一般家庭の子供です。そういう境遇でもレースができるんだな、徳升みたいなドライバーになりたいなと子供たちに思ってもらいたいです」

こうしてレースを続けることになった徳升にマシンを貸し出しサポートしている入江さんも今瀬さん同様、サポートに回りながら自身も参戦し、オー

ナー・ドライバーのどちらの視点も持っている。

「プロになったかったけどプロにはなれなかったんです。どうしても上へたどりつけなかった。だからこの先は参加型のレースで楽しみなが、これまでお世話になってきたレース界に何かお返しをしようと思ったんです。ただぼくより年上の人にお返ししても意味がないので、この先を担う若手に」と入江さんは笑う。だが、ただ単に若い選手はサポートを受けているわけではない、と徳升は言う。

「すべてではありませんが結構大きなサポートをしてもらっています。そのぶ

んだけ何かお返しをしないといけないというプレッシャーもあります。まずは結果です。でも今回の予選ではポールポジションが獲れたと思ったのに5番手でした。入江さんにそう電話で報告したら「オマエ、アホか！何やっとなねん」と叱られました。厳しいですよ（苦笑）」

このプレッシャーに負けず、徳升は決勝レースで3位に入賞、表彰台に上がってみせた。オーナーと若いドライバー。今年のJAF F4選手権では二人三脚で戦うチーム・マシンに注目すると、これまでと違う見え方になるかもしれない。

「若い頃、自分でレースをやっていたS耐などに出たりもしました。でもレースはお金がないと上へは行けない世界。当時の自分には誰も支援してくれる人がいなかったの上へはいけませんでした。今は、自分が働いてちょっとお金ができたので、逆に支援してあげようかなと思ったんです」

ではなぜJAF F4というカテゴリで若い人を支援しようと考えたのだろうか。

「FIA・F4はお金がかかりすぎる。JAF F4はクルマが遅いわけではなく、はるかに安くレースができる。それとクルマもずっと使い続けられます。使えるクルマが眠っていたら、も

つたないじゃないですか」

しかし、現実問題としてFIA・F4は自動車メーカーの育成プログラムが組み込まれ、注目度も高いのに対して、JAF F4は参加者の手作りで継続している地味なカテゴリだ。今瀬さんはそれを認める。

「正直なところ、JAF F4からの上へステップアップするというのは苦しいかなと思います。ベストはFIA・F4に行きたい選手がJAF F4で練習するという形かな」

では、今瀬さんが元嶋にマシンを貸し出すことになった経緯はどんなものだろうか。元嶋以外にも可能性はあるのだろうか。

「以前から付き合いがあったので今回乗せることにしました。もし興味とやる気があるという人がいたら一度電話をもらいたいです。さすがにタダというわけにはいかないけれど、リーズナブルな値段で乗せることはできると思います。ただ、今はクルマが1台しかないのになかなか難しいですけど、いろいろ力にはなれます」

一方、マシンをレンタルしてレースを戦うドライバーの立場からはこの制度はどう見えるのだろうか。予選5番手につけた徳升広平は言う。

「去年、スーパーFJの日本一決定戦で予選2番手になって、レースでもそこそここのところを走っていたのにリタイア。お金がなくなって今年はレースを続けられずもなくなりました。そのとき、たまたまヒットで入賞素願（ひでき）さんと知り合いになって名刺

2019年シーズン、日本F4協会は「ヤングandレディードライバーサポートプラン」をおし、JAF F4車両を所有するオーナーが若い選手たちにその車両をレンタルした場合、若い選手たちのエントリー料を協会が最大半額までサポートし、車両のオーナーにはレースの成績に応じてポイントを付与することも規定に応じた表彰を行なうという新しい仕組みの運用を始めた。

富士スピードウェイで行なわれたスーパー耐久富士24時間レースのサポートイベントとして6月1日に開催されたF4選手権第4戦の現場には、この制度を利用してレースに参戦した選手たちが何人か見られた。

予選3番手につけた元嶋成弥がマシンをメンテナンスする様子を見守っていたのが、マシンのオーナーである今瀬昭彦さんだ。

## 2019 FORMULA 4 CHAMPIONSHIP

# JAF F4

### Paddock News Vol.2

www.f4k.co.jp

#### 国内唯一開発競争のある ミドルフォーミュラF4の魅力を探る

Text & Photo: 大串 信 (Makoto Ogushi)  
Photo: 酒井聖一 (Seiichi Sakai)

「以前から付き合いがあったので今回乗せることにしました。もし興味とやる気があるという人がいたら一度電話をもらいたいです。さすがにタダというわけにはいかないけれど、リーズナブルな値段で乗せることはできると思います。ただ、今はクルマが1台しかないのになかなか難しいですけど、いろいろ力にはなれます」

一方、マシンをレンタルしてレースを戦うドライバーの立場からはこの制度はどう見えるのだろうか。予選5番手につけた徳升広平は言う。

「去年、スーパーFJの日本一決定戦で予選2番手になって、レースでもそこそここのところを走っていたのにリタイア。お金がなくなって今年はレースを続けられずもなくなりました。そのとき、たまたまヒットで入賞素願（ひでき）さんと知り合いになって名刺

### RACE RESULT

 <b>Round 2</b> 5月18日 スポーランドSUGO	 <b>Round 3</b> 5月19日 スポーランドSUGO	 <b>Round 4</b> 6月1日 富士スピードウェイ
---	---	---



ブリヂストル☆アポロ電工☆MIT  
**KOHEI TOKUMASU**



**SEIYA MOTOJIMA**  
NAVY AUTO